

## 事業計画

大阪の国際化に寄与し、大阪の国際競争力の強化を図るため、平成 27 年度に引き続き、若年者のグローバル化への対応を支援する「グローバル人材の育成」、大阪へ海外の活力を呼び込む「外国人の受入促進・活動環境の整備」、当財団のノウハウを発信していくための「国際交流情報の収集及び発信」の 3 つの柱で取り組んでいく。

### 1 グローバル人材の育成

(141,181 千円)

#### (1) おおさかグローバル塾等／実行委員会事業（負担金）

(110,660 千円)

##### ① グローバル体験プログラム

府内の高校が取り組むグローバル人材を育成する導入として、ホテルや空港施設等の模擬施設を活用した英語による体験学習を実施する。海外への興味を引き出し英語学習意欲の向上を図るとともに、グローバルな感覚・能力を育成する。

〔対象者〕 府内在学/在住の高校生（原則クラス単位で参加）

〔募集人数〕 1,600 人～2,000 人

##### ② おおさかグローバル塾

英語で日本や世界の文化・歴史、時事問題、プレゼンテーション・スキルなどを学び、世界の人々とコミュニケーションできる力を育てるとともに、米国、英国への短期留学を行い、自信を持って留学生活を送る力を育てる。また、早い時期から留学への具体的な目標を設定できるよう高校 1 年生を対象とした豪州留学コースも実施する。

###### ・米国留学コース、英国留学コース

〔対象者〕 府内在住/在学の高校 2～3 年生 英検 2 級程度以上・学校長の推薦

〔日程〕 講座：日曜/休日 1 日 3 時間・年 50 時間以上 短期留学：2 週間（28 年 7～8 月）

〔募集人数〕 64 人 〔自己負担金〕 136,000 円

＜米国＞サンフランシスコ州立大学（San Francisco State University）、

カリフォルニア州立ビュートカレッジ（Butte College）

＜英国＞リーズ大学（University of Leeds）、イーストアングリア大学（University

of East Anglia）、ロンドン芸術大学（University of the Arts London）、

ロンドン芸術大学附属国際芸術学院（International School of Creative Arts）

###### ・豪州留学コース

〔対象者〕 府内在住/在学の高校 1 年生 英検準 2 級程度以上・学校長の推薦

〔日程〕 講座：日曜/休日 1 日 3 時間・年 50 時間以上 短期留学：12 日間（29 年 3 月）

〔募集人数〕 20 人 〔自己負担金〕 136,000 円

＜豪州＞クイーンズランド大学（The University of Queensland）、

クイーンズランド工科大学（Queensland University of Technology）

クイーンズランド州立ケドロン高校（Kedron State High School）

- ③ 留学準備集中講座  
府内の大学、高校、専修学校生等を対象に海外留学のための出願書類の作成支援  
英語資格試験対策等を実施  
[対象者] 府内在学/在住の大学・短大・高校・高専・専修学校生 英検 2 級程度以上  
[授業時間数] 1 人 9 時間 [募集人数] 100 人 [参加費] 3,240 円
- ④ おおさかグローバル奨学金  
海外留学の渡航費・海外保険費用・授業料等を支援  
(1 人 50 万円上限・留学期間 1 年以上)  
[対象者] 府内在学/在住の大学・短大・高校・高専・専修学校生  
[募集人数] 20 人 [募集時期] 28 年 9 月 (予定)
- ⑤ 海外研修引率助成金  
府内の高校、専修学校等を対象に、新規又は増員により 10 人以上の海外研修を行  
う場合に研修生 10 人あたり 1 人の引率者の渡航費・海外保険費用を助成 (引率者 1  
人 30 万円上限)  
[対象校] 府内の高校・高専・専修学校  
[募集口数] 引率者 15 人分 (1 校あたり 2 人まで) [募集時期] 28 年 9 月 (予定)

(2) 国際理解教育の促進

(1,100 千円)

- ① 国際理解教育の促進 (1,100 千円)  
府内学校の児童・生徒が外国に関心を持ち、様々な国についての理解を促進するこ  
とをめざし、外国人留学生等を国際理解教育外国人サポーターとして登録し、府内学  
校等で行う国際理解教育の講師として派遣する。早期英語教育の動向をふまえ、高校  
から小中学校へシフトしていく。また、外国人サポーターへのプログラム研修を 28  
年 5 月に実施する。  
[対象] 延べ 50 校 (実派遣校 36 校、うち新規校 4 校)、6,000 人 (予定)  
[登録サポーター数] 100 人 (1 回あたり謝金 6,000 円)  
[共催] (公財) 大遊協国際交流・援助・研究協会

(3) 海外研修生受入事業

(8,813 千円)

- ① 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業の実施 (8,513 千円)  
建築家 安藤忠雄氏が第 1 回国際建築家賞を受賞された副賞を大阪府に寄贈され  
たことを契機に平成 5 年から記念事業として実施。建築・芸術分野を専門としてい  
るアジア諸国の若者等を大阪に招き、日本の建築や芸術等を実地で学ぶ機会を提供  
し、日本文化等に対する理解を深める。また、海外からの研修生と日本の大学生が交  
流する機会を提供する。  
[実施時期] 28 年 9~10 月 (28 日間)  
[対象者] アジア諸国の建築・芸術等を専門としている大学院生等 8 人  
[プログラム] 企業研修、安藤忠雄氏建築物視察 (淡路島・直島等)、大阪府研修  
近畿大学との英語プロジェクト等

- ② エセック経済商科大学院 (Essec Business School) 大学生研修支援事業の実施  
(300 千円)

大阪府の友好交流都市であるフランスのヴァルドワーズ県のエセック経済商科大学院大学生の日本での企業研修の実施にあたり、(公財)枚方市文化国際財団が中心となる実行委員会のメンバーとして参画する。

[実施時期] 28 年 7 月

[実施主体] エセック経済商科大学院大学学生来阪研修事業受入れ実行委員会

## 2 外国人の受入促進・活動環境の整備

(118,306 千円)

### (1) 留学プロモーション等の推進/実行委員会事業 (負担金)

(22,605 千円)

- ① 大阪の情報・魅力発信事業

外国や府内の外国人に向けた多言語 (日・英・中・韓) のポータルサイト「おおさかグローバルウェブサイト」を運営し、大阪の魅力やイベント、ビジネス、観光、留学、生活、行政、緊急防災など様々な情報を一元化し、大阪の魅力をワンストップで発信する。

- ② 海外での留学プロモーション

- ・大阪留学プロモーション事業

28 年 12 月にマレーシアで開催される留学フェアに参加し、大阪の留学情報を発信する。

- ・留学プロモーションのフォローアップ事業

留学プロモーションを実施したベトナム、インドネシアにおいて、大阪への留学に関する現地ニーズに継続的に対応するため、ウェブ等を活用した現地語での大阪留学情報の提供や留学相談対応等を実施する。

- ③ 留学生就職支援事業

留学生と企業が相互理解を図るための取り組みや、インターンシップ、合同企業説明会の実施により、府内企業への就職支援や、企業が円滑に留学生を活用できる環境を整備する。

### (2) 留学生の活動促進事業

(21,423 千円)

- ① 大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営 (20,475 千円)

外国人留学生を呼び込み、安心して勉学や多様な活動に参加してもらえるよう留学生寮を運営する。

[所在地] 堺市北区東上野芝町 2 丁 226 番

[室数] 85 室

[居室使用料] 月額 26,000 円 (光熱費等を除く)

② 大阪府堺留学生会館オリオン寮活用事業（613 千円）

留学生の就職に関するニーズの把握に努め、就職サポート事業を実施するとともに、オリオン寮をはじめとする府内留学生を対象とした防災訓練や館内の集会室を活用した地域との交流会などを実施する。

・留学生のための就職サポート事業

府内の企業への留学生の就職を促進するため、専門機関が実施する就職イベントと連携して、28年7月に留学生のキャリアカウンセリングを実施する。（予定）

〔共催〕（公財）大遊協国際交流・援助・研究協会

・留学生向け防災訓練の実施

留学生が災害時に適切な対応ができるよう、28年6月にオリオン寮をはじめとする府内留学生を対象とした防災訓練を実施する。

・地域交流会の実施

5月（ウエルカムパーティ）と12月（ウインターパーティ）に地元自治会等との交流会を開催する。

③ 留学生への特別入場証の発行（335 千円）

留学生の日本文化理解促進のため、関係機関の協力により、府内大学等に在籍する留学生を対象に美術館、博物館等へ無料で入館できる特別入場証を発行する。

〔発行部数〕約 17,000 部

〔共催〕（公財）大阪国際交流センター、（公財）大遊協国際交流・援助・研究協会

（3）外国人相談の充実等

（14,952 千円）

① 大阪府外国人情報コーナーの運営（5,193 千円）

府内に在住する外国人及び外国人と接する市町村等の窓口にて、9カ国語での相談対応や情報提供を行う。また「外国人からのよくある質問（FAQ）」、「大阪生活必携」を改訂する。

〔実施時期〕月曜から金曜の9時から17時30分まで（トリオフォンを利用）

〔相談件数〕約 1,450 件（見込）

② 府内市町村等の外国人相談の強化（1,971 千円）

地域での外国人相談のモデル実施として府内市町村及び国際交流協会との共催による一日相談会を実施する。また、府内市町村での外国人向け相談窓口のネットワーク会議を開催するとともに、相談員・通訳者向けの研修を実施する。

〔実施団体〕堺市、四條畷市、和泉市、泉大津市、大東市等（予定）

③ 一日インフォメーションサービス事業（140 千円）

大阪法務局、大阪入国管理局等で構成する実行委員会が実施する在阪外国人のための一日相談会にメンバーの一員として参画する。

〔実施時期〕28年6月

〔開催場所〕大阪国際交流センター

〔実施主体〕一日インフォメーションサービス実行委員会

- ④ コミュニティ通訳・翻訳ボランティアの活動促進（4,265 千円）  
 コミュニティ通訳・翻訳ボランティアの活動を促進するため、府内市町村国際交流協会等と連携して市町村の行政制度や専門知識について理解を深めるため研修を実施する。  
 [実施団体] 堺市等（予定）
- ⑤ 災害時の外国人支援の強化（2,576 千円）
- ・ 高等教育機関向け防災ワークショップの開催  
 留学生が在籍する大学や専門学校を対象に、28 年 9 月に災害時の安否確認や帰国対応等の課題についてワークショップを実施する。
  - ・ 市町村国際交流協会等との連携  
 市町村国際交流協会等とともに外国人向け防災訓練を共同開催するとともに、災害時の通訳・翻訳ボランティア研修を実施し、ボランティア機能の充実を図る。  
 [実施団体]（公財）とよなか国際交流協会等（予定）
  - ・ 災害時通訳・翻訳ボランティア研修  
 大阪府と連携し、災害時に外国人の支援を行う災害時通訳・翻訳ボランティアを対象に、講義や体験型の研修を実施する。  
 [実施内容]  
 28 年 6～9 月 「災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド」を活用した講義及び災害体験（場所：大阪府津波・高潮ステーション）  
 29 年 1 月 大阪府地震・津波災害対策訓練に参画し、災害時多言語支援センターの運営に関する実地訓練
- ⑥ OFIX ボランティア登録・派遣制度の運営（655 千円）  
 ホストファミリー、語学ボランティア、文化ボランティアで構成する OFIX ボランティア登録制度を運営し、OFIX 事業のほか、公共的な団体等からの依頼に応じて派遣を行う。
- ⑦ 多言語情報の提供事業（152 千円）  
 震災関連情報などの緊急情報、行政情報等の翻訳サービスの提供やその内容のホームページでの提供を通じ、留学生等外国人が住みやすい環境づくりを支援する。

### 3 国際交流情報の収集及び発信

(12,758 千円)

#### (1) 民間国際交流団体の活動促進

(133 千円)

- ① 近畿地域国際化協会連絡協議会、市町村国際交流協会等との連携促進  
 近畿地域国際化協会連絡協議会において災害時多言語支援センター設置訓練等を引き続き行う。また、市町村国際交流協会等との災害時外国人向け防災訓練の実施などの事業を通じた連携・情報交換を進める。

- ② ワン・ワールド・フェスティバルへの参画 (100 千円)  
国際協力活動を行っている NPO/NGO や政府機関等が一堂に会するワン・ワールド・フェスティバルに参画する。  
[実施時期] 29 年 2 月 (予定)  
[開催場所] カンテレ扇町スクエア・大阪市北区民センター・扇町公園 (予定)  
[実施主体] ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会
- ③ 関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV・NET) への参画  
関西における国際交流ボランティア活動の発展・振興に寄与することを目的として設立された関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV・NET) の活動を支援する。(28 年度の事務局は、OFIX)

(2) OFIX からの情報発信

(4,182 千円)

- ① OFIX ホームページの運営等 (2,011 千円)  
財団事業や国際交流に関する情報をホームページ、フェイスブックで発信するとともに、OFIX ニュース等を配信する。
- ② OFIX プラザの運営 (2,171 千円)  
国際交流に関する図書、資料等 (約 5,000 冊) が活用できる情報提供体制を充実する。